

# 治療使用特例（TUE）に関する 国際基準 2021

2015 から 2021 の変更点概要



## 2021 年 1 月 1 より、新しい「TUE 国際基準」が発効されます

以下は、アスリート、サポートスタッフ、競技団体、スポーツ関連団体、スポーツに関するすべての方を対象に新しいルールを知ってもらうため、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が公開する「Factsheet on 2021 ISTUE(May 2020)」を JADA で翻訳したものです。

### 1. 治療使用特例（TUE）の取得

- 以下のいずれかに該当する場合、競技者は遡及的 TUE を申請することができる。
  - 医学的状態の救急又は緊急の治療が必要であった
  - 検体採取の前に、競技者が申請を提出することの妨げとなる、時間や機会の不足、又は他の例外的な事情があった
  - 国家レベルでの特定のスポーツの優先により、当該競技者を管轄する国内アンチ・ドーピング機関（NADO）が当該競技者に対して、将来効を有する TUE の申請を許可せず、又は要請しなかった
  - アンチ・ドーピング機関（ADO）が国際レベル又は国内レベルではない競技者から検体を採取することを選択する場合において、当該競技者が治療目的のために禁止物質又は禁止方法を使用している
  - 競技者が治療目的のために、競技会（時）においてのみ禁止されている物質を競技会外で使用した
- 以下を含め、TUE を取得するための要件が明確化された。
  - 診断は申請に不可欠の要素である
  - 禁止物質の使用は、治療のみではなく、診断検査の一部となりうる。
  - 競技者の通常の健康状態の評価に関する説明が含まれた。
  - 許容される代替の治療方法の使用、とりわけ様々な地域において異なる慣行を理にかなった範囲内で検討することの必要性が明確化された。
  - TUE の付与は、ISTUE に定める条件の検討のみに基づくものであり、禁止物質又は禁止方法が最も臨床的に適切もしくは安全であるか、又はすべての法域において適法かどうかを検討するものではない。

- 世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の TUE 医師ガイドラインは参考文書として用いられる。
- 例外的な状況にあり、かつそうしないことが不正である場合、TUE 付与のためのすべての基準が満たされていない場合は遡及的 TUE を付与することができるが、これには WADA による国際及び国内レベルの競技者に対する事前承認が必要となり、ADAMS に入力されていなければならない。

### 2. アンチ・ドーピング機関の TUE に関する責任

- NADO に有効な TUE を付与された国際レベルではない競技者は、その TUE を別の NADO から正式に承認される必要はない。
- 遡及的 TUE に関する条件が満たされているかどうかは、関連する ADO が TUE 専門委員会（TUEC）の構成員と協議の上で決定する場合がある。
- TUEC の審査長は、同委員会の委員であり、かつ医師でなければならない。
- ADO は、競技者が遡及的 TUE の申請又付与を許可された理由を報告しなければならない。
- 診断を明確に確定させるために十分な情報とともに、医療ファイルに含まれるすべての重要情報（重要な診断検査を含む）の英語又はフランス語に翻訳された要約を提供し、ADAMS に入力しなければならない。
- ADO はホームページ上で、どの競技者がその管轄下に該当するのかを定期的に更新する通知を公開しなければならない。国際競技連盟（IF）及び主要競技大会機関（MEO）はそれぞれの TUE 承認手続についても示さなければならない。

### 3. TUE 申請手続き

- 国際レベルではない競技者は、TUE をどこに申請すべきかを示す新しいフローチャートを WADA

のホームページから入手できるようになる。

- まず、競技者が属するスポーツ団体を管轄する NADO、管轄外の場合はその競技者が居住する国の NADO に連絡する。
- 次に、その競技者が公民権を有する国の NADO (競技する国、又は、居住国と公民権を有する国が異なる場合) に連絡する。
- 上述のいずれの NADO も TUE 管轄を有しない場合において、違反が疑われる分析報告 (AAF) がなされたときは、その競技者は結果管理権限 (RMA) を有する ADO からの遡及的な TUE の申請が許可されるべきである。
- 競技者は、疾患に対して 1 つの有効な TUE のみを保有することができる。このため、一度に TUE を申請できるのは 1 つの ADO に対してのみである。

#### 4. TUE 承認手続き

- IF が国際レベルではない競技者の検査を選択する場合、IF は NADO により付与された TUE を承認しなければならない。ただし、その競技者が国際競技大会において競技中であるために TUE の承認申請を要求されない場合は、この限りではない。



#### 5. TUE 決定に関する WADA の審査

- 医学的検査又は要求される他の情報が欠如していることのみを理由として NADO により付与された TUE の承認を IF が拒否する場合は、この事案を WADA に付託すべきではない。その代わりに、その記録は追完され、IF に再提出されるべきである。

#### 6. 情報の守秘

- ADO は、「プライバシー及び個人情報保護に関する国際基準 (ISPPPI)」に従い、申請、競技者の健康、競技者の申請に対する決定、その他の関連情報に関して通知しなければならない。